

事業名

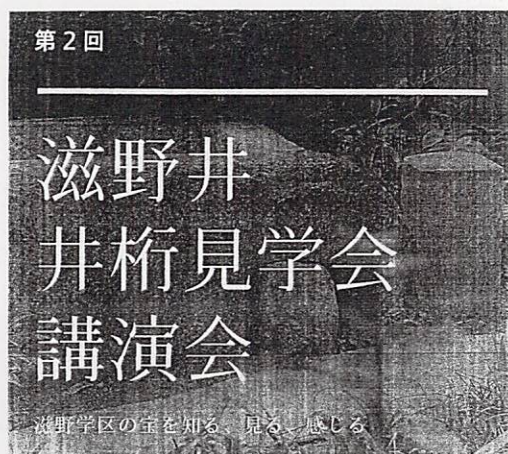
# 名水「滋野井」を 地域の宝に！！

実施団体

## 滋野団体連合会

滋野学区内全戸配布しました  
見学会・講演会チラシ

滋野地域に伝承され、都七名水に数えられた「滋野井」とそれにまつわる歴史に向かい合い、地域の成り立ちを検証し次の時代に伝えて行くことで、地域への愛着を高め活性化を図ることを目指しました。それに伴い、地域の民家に保存されてきた滋野井の井桁を、生き方探究館正面玄関に移設し広く世の中に顕彰することにしました。



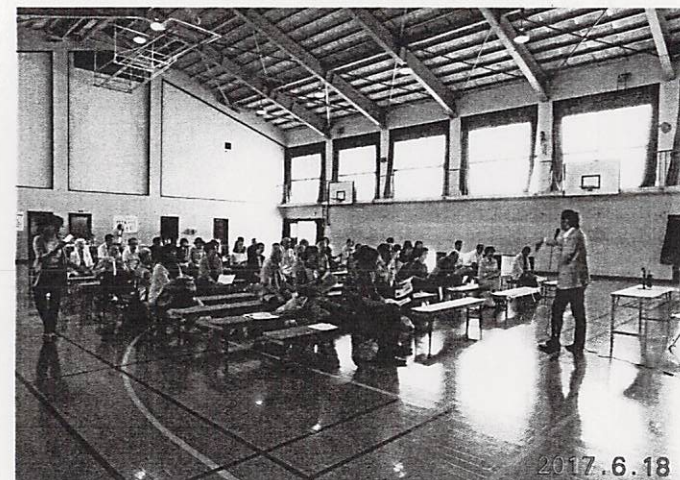
平成29年6月18日(日)10時～12時  
生き方探究館体育館に集合

第一部 ①井桁見学会 ②利き水 ③滋野の写真展(予定)  
第二部 講演会 鈴木康久氏(京都産業大学現代社会学部 教授)  
テーマ「滋野井-京都の名水・水文化について」

民家の庭に大切に保存されてきた井桁です  
井桁見学会 6月18日(日)



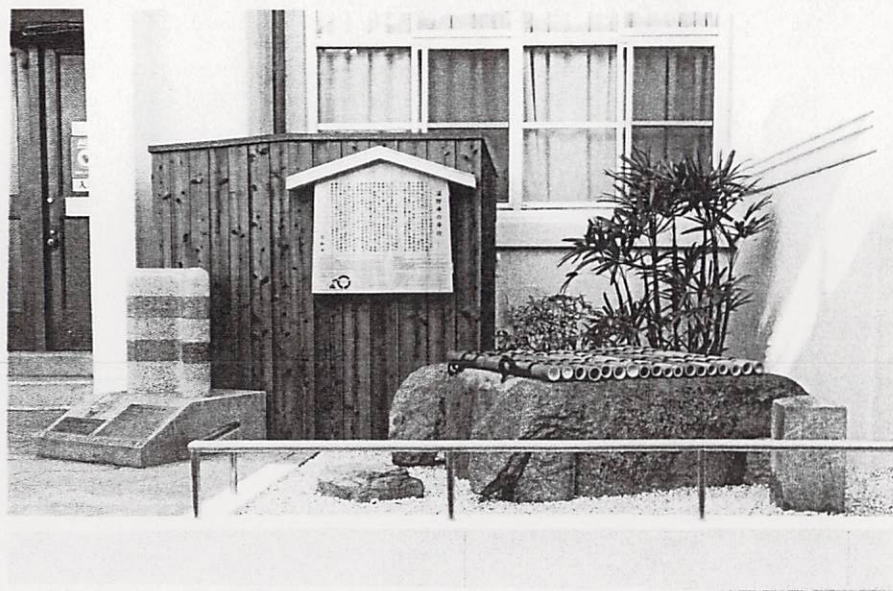
京都産大・鈴木康久教授による講演です  
講演会 6月18日(日)



滋野地域の水をテーマにした資料調査会  
図書館資料調査会 7月9日(日)  
右京中央図書館



3月4日(日) 除幕式(探究館玄関前)  
滋野井の井桁



1月21日(日) もちつき大会  
かみぎゅうくんと井桁模型



漠然とした地域感のなかで、地域名を冠した「滋野井の井桁」を発見移設し、広く世の中に顕彰する事ができたのは大きな事でした。地域の芯となる精神的拠り所を得ることができたからです。また井桁見学会や講演会の開催、右京中央図書館での資料調査会、夏祭りでの写真展、そして体育祭やもちつき大会でのかみぎゅうくんと井桁模型のパレード等の広報活動を通じて地域の一体感も一段と向上しました。そして当初からこの事業に対し取材を続けて来られた京都新聞社の記事掲載効果も大きく、地域外の方々や元滋野中学校卒業生の方々にも大きな反響を呼びました。